

平成 24 年岐阜県臨床検査技師会創立 60 周年記念誌発行にあたって



社団法人岐阜県臨床検査技師会

会 長 北 村 顕

社団法人 岐阜県臨床検査技師会創立 60 周年記念誌発行にあたり御挨拶申し上げます。

平成 24 年岐阜県臨床検査技師会創立 60 周年記念式典には、御来賓の岐阜県医療整備課課長後藤賢也様、岐阜県病院協会事務局佐々木旭様、日臨技会長宮島喜文様、中部圏会長横地常広様にはお忙しい中御出席頂きまして誠にありがとうございました。また、式典に御出席頂きました会員、賛助会員の皆様方に、厚く御礼申し上げます。60 周年記念式典にあたり、会員 22 名の表彰がありました。受賞者は、多年にわたり、臨床検査業務に専念され、県民の健康増進、当会の発展に寄与されました功績に対し、表彰されました。受賞される皆様におきましては、誠におめでとうございます。

さて、当会が 60 周年を迎えるにあたり、歴史を振り返りますと、昭和 25 年 11 月、下呂保健所において、有志 25 名が集り当会の前身であります「岐阜県衛生検査技術者会」が、産声をあげ戦後とともにその歴史を刻んできましたのが当会の始まりであります。以来、昭和 27 年 7 月名古屋において日本衛生検査技術者会の設立に伴い、当会も支部長に岸正弘氏が就任され日本衛生検査技術者会岐阜県支部としてスタートすることになりました。その後、日本衛生検査協会岐阜県支部、日本衛生検査技師会岐阜県支部、岐阜県衛生検査技師会、岐阜県臨床衛生検査技師会、岐阜県臨床検査技師会と改名し組織の充実を目指しながら、変遷してきました。

平成 5 年 4 月岐阜県の適切な指導を得て、大橋繁夫氏を始め会員の熱意と努力により、社団法人として名実共に充実した組織へと生まれ変わり出発しました。公益法人制度改革に伴い平成 20 年 12 月 1 日に新制度が施行され当会においても準備を進め、平成 24 年度には一般法人への移行申請をする予定でございます。

昭和 61 年 5 月には、第 35 回日本医学検査学会が、大橋繁夫学会長のもとで岐阜市で開催されました。当会としては、初めての日臨技学会でありましたが、会員が一丸となって取り組み、その結果盛会に終わりました。

地区学会では、昭和 37 年 12 月名古屋市で第 1 回東海衛生検査学会が開始され、中部衛生検査学会、

中部臨床衛生検査学会、中部医学検査学会と学会名称が変わり、そして、平成 24 年 11 月には、平成 24 年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第 51 回）としてスタートしました。その新たにスタートした学会の第 1 回目を当会が担当しました。東濃地区の会員が中心となり、岐臨技役員、岐臨技会員が丸となって、開催準備をして学会当日は、1,091 名の参加があり、大盛会のうちに終わり、参加されました会員の皆様には厚く御礼を申し上げます。当会で担当した学会が過去 9 回あり、岐阜市、笠松市、高山市、大垣市、多治見市で開催され盛会に終わりました。

岐阜県臨床衛生検査資料館は、昭和 55 年 3 月、全国で初の、資料館としてオープンしました。開設場所は、関市岐阜医療科学大学の本館 2 階であります。開設以来、32 年間という長期にわたり、開設場所をお借りしております岐阜医療科学大学様には深く感謝申し上げます。今後も引き続きお願いすることとなりますが、よろしくお願い申し上げます。

当会事務所は、平成 18 年 4 月、岐阜市藪田三丁目に開設しました。しかし、数年後に、事務所運営に問題が生じ、平成 22 年度より、会員の皆様にご理解いただき、会費の値上げを承認して頂きました。そして、岐臨技、日臨技の会費納入方法が自動引き落としに変わりました。また、日臨技では、福利厚生事業の一環として「臨床検査技師賠償責任保険」と「会務中の普通障害保険」を合わせた日臨技全員加入保険制度ができました。

当会が 60 年の年輪を重ねることができたのは、歴代会長を初め、支えてこられました役員、後輩の指導育成に、ご尽力されました先輩諸氏の、並々ならぬご苦勞と、ご努力に、心から敬意を表わすとともに、会員皆様の、日ごろの御尽力の賜物であると心から感謝申し上げます。最後に、当会のますますの繁栄と、会員皆様のご健勝を祈念して挨拶とします。

平成 25 年 3 月吉日